

令和2年度高槻市都市計画マスタープランの改定に向けた調査審議 意見集約（要約版）

令和2年5月13日（水）～5月19日（火）

案件1 将来都市構造（案）【資料3-1】

番号	項目	主なご意見	事務局の考え方
1	1 将来都市構造に枠組み	妥当な構成だと思う。	—
2	1-3 拠点	「上牧都市拠点」に「市民が快適に住み続けられる都市機能が集積するエリアで」と現状を説明しているが、他の拠点の記載と同じく、今後の方針については、例えば、「市民が快適に住み続けられる都市機能の集積をいかして、市域東部の生活拠点として位置付けられます」と修正してはどうか。	ご意見を踏まえ、他の拠点の記載を含め、修正いたします。
3	1-3 拠点	「高槻東新拠点」の「魅力ある新たな拠点」について、もう少し記載を追加してはどうか。他の拠点では、現状の機能をいかした方針が記載されている。	検討段階の拠点となるため、現状ではこのような記載に留めていますが、ご意見を踏まえ、記載を調整いたします。
4	2 将来都市構造図	凡例に「拠点」の記号が示されていない。類推できるが、「拠点」だけ省略するのではなく、他の記号と同様に記述すべき。また、「拠点」を赤色とオレンジ色に分けているので、定義も明確にすべき。	ご意見を踏まえ、記載を修正いたします。
5	全体	「ゾーン」、「軸」、「拠点」の3要素を選んだ結果のみが書かれており、その結果を選んだ理由が不明なため、選んだ結果の妥当性が判断できない。将来、本計画を見直す際に、この3要素の妥当性を再考する上でも有用な手がかりになると推測する。もちろん、別の場所（例えば計画書詳細編/解説編やFAQなど）に記載しても構わない。	「ゾーン」、「軸」、「拠点」の3要素については、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」等の考え方を踏まえ、基本理念や目標を表現するための将来の望ましい都市の要素として設定したものです。なお、【資料3-1】に進むための道しるべとして、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」等の考え方を示した資料を追加いたします。
6	全体	【資料2】と【資料3-1】の関係が読み取れない。都市のつくり方を提案する【資料3-1】に進むための道しるべ（都市のつくり方の基本方針）が【資料2】に示されていないためではないか。	

案件2 分野別の方針（案）【資料3-2】

番号	項目	主なご意見	事務局の考え方
7	1ページ 1-2 分野別の方針 の構成	都市計画マスタープランの方向性が明確になっていて、分かりやすい。	—
8	1ページ 1-2 分野別の方針 の構成	「協働のまちづくり」が何かについての記載がない。 例えば「地域の人々が自主的に取り組む地域の環境改善活動」などを記載して、法定都市計画だけでは対応できない住民主体のものと明記することが望ましい。	「協働のまちづくり」とは、都市づくりにおける共通の目標達成に向け、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を理解のもと、都市施設整備や市街地開発などのハード整備だけでなく、それらを補完するようなソフト面の都市づくりについて、互いに協力し合いながら進めるべき取組を指しております。いただいたご意見を踏まえ、記載を調整いたします。
9	4ページ 3-1 土地利用 6ページ 3-2 市街地整備	それぞれの方針図と【資料3-1】にある「ゾーン」との関係はなにか。	都市整備の方針については、土地利用の方針図は「ゾーン」と、市街地整備の方針図は「拠点」と、交通体系・都市施設等の方針図は「軸」として将来都市構造の枠組みとの対応を整理し、各方針を設定しております。
10	5ページ 3-1 土地利用	【参考資料】の地域別意見を見ると、複数の地域で「子どもの遊び場」の充実が挙げられている。安心して子育てができる住宅系市街地の都市整備の視点が必要ではないか。	「子どもの遊び場」の記載については、ご意見いただいておりますとおり、11ページ 3-4 都市施設等の方針のなかで記載するのがよいと考えますので、そちらでの記載を調整いたします。
11	5ページ 3-1 土地利用	「13 集落地においては、日常生活に必要な生活機能の維持・改善に努めるとともに、営農意欲や新しい価値観を持つ居住者の受け入れなど、活力維持のための資源として空家の活用等を支援します。」とあるが、7ページ 3-2 市街地整備の13で空家について記載されているので、5ページでは土地利用的な視点からの方針として、再整理した方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、記載を修正いたします。

12	5ページ 3-1 土地利用	「1 適切な居住の誘導を図るとともに、地域の環境や特性に応じ、市民が快適に暮らせる良好な住環境の形成をめざします。」の“適切な居住”のイメージは何か。 住宅系市街地としての、現状を踏まえ、 “人口増加”“人口規模を現状維持”“人口減少”のいずれをめざすのか。	当該項目については、①「用途地域（住居専用地域等）」による良好な住環境の保全誘導や②「居住誘導区域」の指定による市街地の拡大防止などを想定したものであり、高水準な人口密度を維持したコンパクトなまちづくりをめざす考えとして記載する方針です。
13	7ページ 3-2 市街地整備	「18 復興事前準備に取り組み、大規模な災害が発生した場合にも迅速に復興できる都市をめざします。」について、「復興事前準備」という用語は、まだあまり浸透していない気がします。プロ向けには、復興事前準備でよいと思うのですが、“平時から災害の発生を想定して事前準備し” ぐらい分かりやすく書いても良いかもしれません。	ご意見を踏まえ、記載を調整いたします。
14	9ページ 3-3 交通体系	「1 都市計画道路は、事業を契機とした都市計画の変更や長期未着手路線の適時適切な見直し等を検討し、選択と集中による事業を推進します。」について、「選択と集中」では評価の視点が見えなくなる。「優先順位を決めて」に変更した方がよい。	ご意見を踏まえ、記載を修正いたします。
15	9ページ 3-3 交通体系	道路の使い方についての記述がない。（生活道路以外の）歩行者系道路空間、自転車の走行空間、バスの走行空間等の記述がないので、これについて記載すべき。	ご意見を踏まえ、記載を追加いたします。
16	11ページ 3-4 都市施設等	前述に意見した【5ページ 3-1 土地利用】の方針を受けて、子どもの遊び場としての視点を追加してはどうか。5の既設公園についての記載に加えるか、6に加えるか、新規項目を追加するかを検討いただきたい。	前述の「子どもの遊び場」の記載に関するご意見も踏まえ、【11ページ 3-4 都市施設等】の方針の中での記載を調整いたします。
17	11ページ 3-4 都市施設等	【参考資料】の地域別意見（高槻南地域）では、「水辺に親しめる河川整備」への要望が挙げられているので、「憩い」や「潤い」に加え、「親水」というキーワードを盛り込むことも考えられるのではないかと。	ご意見を踏まえ、記載を修正いたします。

18	12ページ 4 協働のまちづくりの方針	「情報共有」について、行政からの情報提供だけでなく、市民からのフィードバックも、情報共有に含まれそうな気がする。一方通行にならない方が、協働的である。	当該箇所については、自分たちのまちを知ることで、関心を持ったり、理解を深めることができるよう、本計画の周知やまちづくり情報の公開などの情報提供を推進することとしておりますが、取組の具体例に挙げるまちづくり勉強会・出前講座の実施の中では、行政からの情報提供だけでなく、市民からの地域課題の共有などについても推進し、双方向のコミュニケーションが図れるものと考えております。
19	13ページ 4 協働のまちづくりの方針	「意識醸成」とは、上から目線的な表現である。「意識醸成」だけでなく、自分たちが主役になって取り組んでもらうことが必要である。「自分たちのまちづくり」に変更し、取組の具体例に「まちづくりワークショップ」を追記した方がよい。	「意識醸成」については、他の計画でも用いられており、ご指摘いただいたような意図はありませんが、ご意見を踏まえ、記載を修正いたします。 また、ご意見いただきましたとおり、取組の具体例に「まちづくりワークショップ」を追記いたします。
20	全体	第6次高槻市総合計画（審議中）について、都市計画マスタープラン（審議中）に関係する部分の相違点 について何らかの情報はるか。 総合計画とともにより強めていけるポイント、方向性が少々異なるニュアンスのため調整が必要なポイント 等の整理が必要である。	本計画の改定に当たっては、上位計画である「第6次高槻市総合計画」（以下、「総合計画」という。）との整合を図るため、互いに連携しながら検討を行っており、「総合計画」の現在案で掲げる8つの将来都市像のうち、「憩いの空間で快適に暮らせるまち」、「安全で安心して暮らせるまち」、「行き交う人々でにぎわう魅力あるまち」は、お示ししている本計画の目標案と整合したものであると考えております。 本計画においては、「総合計画」が掲げる将来都市像の実現に向け、都市整備の分野における基本的な考え方を示すものとして、今後10年間の大きな取組となる「広域交流拠点」や「高槻東新拠点」の形成などは、「総合計画」との整合を図りながら、本計画において強めているポイントとなります。

21	全体	<p>【資料2】及び【資料3-1】との関係が読み取れない。【資料3-1】で提案した「ゾーン」・「軸」・「拠点」はどこへ行ったのか。計画を策定する際は、「大まかで抽象的な計画」から「詳細で具体的な計画」にブレークダウンするというプロセスを踏む。【資料2】及び【資料3-1】、【資料3-2】もこのプロセスに沿って作成されたものというのが私の理解だが、それぞれ独立に作成されたものが並べられているという印象を受けた。その結果、「論理の一貫性」が欠けてしまったように思われる。2ページに「都市づくりの目標(案)と関連付けて」とあるが、意地悪な言い方をすれば、その前に「将来都市構造の枠組み【資料3-1】は脇に置き、」という一文がほしいところ。</p>	<p>委員にご理解いただいている主旨で作成しておりますが、前述のご意見にもありましたように、【資料2】と【資料3-1】のつながりとして、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」等の考え方を示したいと検討しており、ご意見を踏まえ、記載を調整いたします。</p>
22	全体	<p>各施策と【資料3-1】の3要素の分類との関係が読み取れない。例えば、【2ページ 都市整備の方針の基本的な考え方 - 2 市街地整備】の1番目「都市拠点においては」は「高槻中枢都市拠点」のこのみだけを述べているという理解でよいか。また、3ページ「2-3 交通体系」の4つの考え方は【資料3-1 1-2 軸】の「広域連携軸」・「地域連携軸」と密接に関係しているはず（例えば、3番目の広域交通ネットワークの強化は「地域連携軸」には該当しない）だが、どのように対応しているのか。</p>	<p>都市整備の方針については、土地利用：「ゾーン」、市街地整備：「拠点」、交通体系・都市施設等：「軸」として将来都市構造の枠組みとの対応を整理し、各方針を設定しておりますが、ご意見を踏まえ、関係性が分かるような記載の追加を検討します。</p> <p>なお、ここでの「都市拠点」とは、主に「高槻中枢拠点」「富田都市拠点」を想定して記載しております。</p> <p>また、交通体系の基本的な考え方については、1つ目が「地域連携軸」、3つ目が「広域連携軸」を想定して記載しております。</p>
23	全体	<p>【資料3-1】と【資料3-2】の関係について、【資料3-1】の「ゾーン」・「軸」・「拠点」は同じではないのですが、ほぼ「土地利用」・「交通体系」・「市街地整備」と対応しているように思える。この2つの資料の関係はどう考えればよいか。地図の色分けは似ているが、用語が色々出てくると迷う。</p>	

その他

<p>24</p>	<p>資料2 課題整理・ 都市づくり の理念・目 標</p>	<p>●これまでも指摘してきたが、「基本理念」と「ありたい姿」は同じことを言っているように思える。「避けたい姿」から「ありたい姿」へ到達するためには、①「ありたい姿」と「避けたい姿」のギャップである「問題点」（＝重点課題）を明らかにし、②問題点を都市計画という政策で解消（＝重点課題の推進・実現）するための方法・手段（の基本方針＝都市づくりの基本理念）を提案して問題点を解消し、③問題点が解消した「ありたい姿」を実現するという順序を踏むはずである。ここで言う基本理念は「作り方」（手段）の基本理念である。にもかかわらず、そこに「めざす（ありたい）姿」が書かれているとフローが中段上部に戻ってしまい、そのために次の段階に進めないという事態が生じているように思われる。</p> <p>●右下の「基本理念」欄の現行の「住みたい・住み続けたい・訪れたい都市 たかつき～みんなで創る持続可能な都市～」を削除し、【資料3-1】で述べる「作り方」を一言で示す文言を書いているかがか。例えば、「“ゾーン”，“軸”，“拠点”を一体的に機能させるまちづくり」、「“ゾーン”，“軸”，“拠点”が有機的に調和したまちづくり」といったようなものである。</p> <p>●これを読んだ人は、“どんなことを提案しようとしているのだろうか”との疑問が湧き、【資料3-1】に読み進んでくれると思う。</p> <p>●削除した「住みたい・住み続けたい・訪れたい都市 たかつき～みんなで創る持続可能な都市」は中央上部に移し、「ありたい姿 住みたい・住み続けたい・訪れたい都市 たかつき～みんなで創る持続可能な都市～」とし、「①…」・「②…」・「③…」とすれば据わりがよいように思う。</p>	<p>ご指摘いただきました思考プロセスを踏まえ、基本理念は「本市のありたい姿の全体像を分かりやすい言葉で表したもの」、目標は「現状・動向を分析し、本市の強みの維持・活用、弱みの克服といったそれぞれの側面からありたい姿を設定したもの」として、都市計画審議会において報告させていただきましたが、委員より「基本理念」と「目標」が同一化しており、フローが分かりにくいというご意見をいただいていることは十分理解しておりますので、ご意見を踏まえ、追加資料の作成を検討します。</p>
-----------	--	--	---